

第2期草津市学校教育情報化推進計画

令和4年度の主な取組について（中間報告）

基本目標1 (1)New草津型アクティブラーニングの推進

1. New草津型アクティブ・ラーニングとは

令和2年度からは、これまでの「草津型アクティブ・ラーニング」を土台として、GIGAスクール構想により1人1台端末を持つことで、デジタル教材（ICT）をいつ、どのように使うか自分自身で考えながら個別最適に活用し、より質の高い主体的・対話的で深い学びを行う授業を「New草津型アクティブ・ラーニング」として推進している。

New草津型アクティブ・ラーニングとは

1人1台端末の活用

- ・いつも手元にある(場所)
- ・いつ使うかを学習者が選ぶ(主体)
- ・どのように使うかを学習者が選ぶ(方法)
- ・学習したことをデジタルで蓄積する(記録)

協働的な学び

- ・探究的な学習や体験活動等を通して学び合い、多様な人と協働する。
- ・リアルタイムで自分の考えを共有し、多様な意見に触れる。

個別最適な学び

- ・自分の目標に向けて学習問題に取り組む。
- ・自分に最適な学び方で学習問題を追究する。
- ・自分の学習履歴を記録し活用する。

ICTを活用したハイブリッドな学習が土台

デジタル教材



アナログ教材

「New草津型アクティブ・ラーニング」では、教師は、個別最適な学びのまとめ役（ラーニング・オーガナイザー）として、様々な資質・能力の向上を図る。



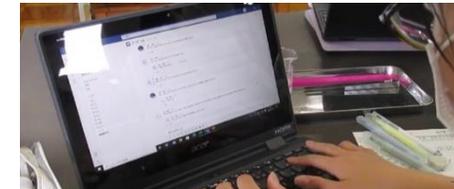
2. モデル授業の実施

「New草津型アクティブ・ラーニング」がめざす具体的な授業を先行して実施する。協働学習でのICT活用の「充実を目指す」。

小6	理科	9h	物をもやすはたらき	ルーブリック評価、ジグソーを使った深い学び
中2	理科	15h	生物の体をつくるもの	Teamsを使った双方向の意見交流による深い学び
小6	理科	9h	水溶液の性質(実施中)	フローチャートを使った深い学び



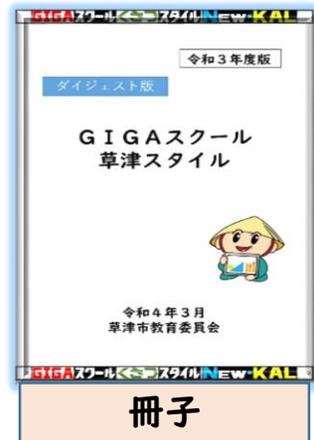
ジグソー活動



双方向の意見交流

3. GIGAスクール草津スタイル(冊子)の配布

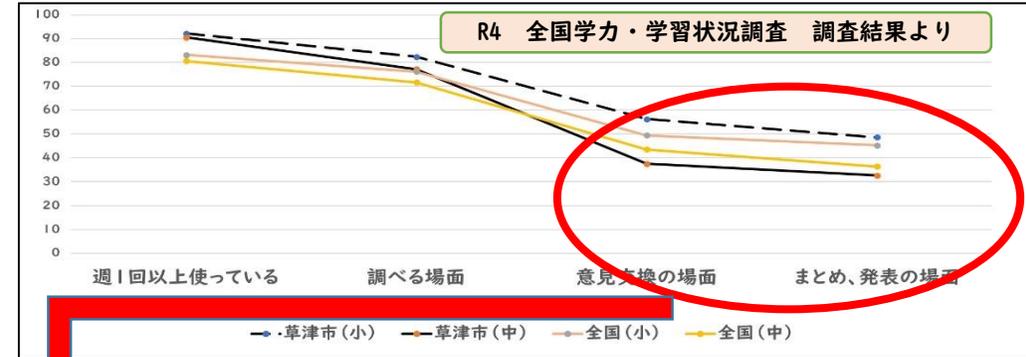
「New草津型アクティブ・ラーニング」の概要、授業実践例などを掲載したGIGAスクール草津スタイルを全教職員に配布した。



冊子

4. 成果

- ・小中学校共にモデル授業を実施することができた。
- ・啓発に活用する可視化したデータ(動画、アンケート、冊子など)をまとめることができた。
- ・様々な教科でのモデル授業の取り組みを検討する必要がある。



基本目標3 (2)教員間におけるICT活用格差の解消



少人数によるきめ細やかな研修の実施に努めています。



個別研修会
対象：希望するグループ等



目的
教員のICT活用指導力の底上げを図る研修の実施等を通じてICT活用指導力における教員間格差を解消する。



新転任者研修
対象：市外からの転勤者



校内研修への参加
対象：学校毎

ステージ別研修会(初級・中級)
対象：希望者



研修後のフォローアップにも努めております。



第2回ICTステージ別研修会(希望制) 御参加、お待ちしております! 学校政策推進課

えっ!こんな活用方法があったの...2学期からの授業で即、活用!

スキルアップ!
明日から、もっと×2使いたくなる、ICT研修会

対象：本研修会への参加を希望する者

研修内容	ステージ	協働学習ソフト(ミライシード)	Microsoft Teams
	初級	・児童生徒の思考の可視化と共有におけるオクリンクの活用について	・児童生徒の思考の可視化等におけるMicrosoft Whiteboardの活用について
	中級	・協働学習を活性化するためのムーブノートの活用について	・協働学習を活性化するための魅力的なプレゼンテーションやレポート作成のためのMicrosoft Swayの活用について

日時

初級：8月18日(木) 13:30
中級：8月22日(月)
場所：草津市立教育センター

ミライシードでは、「オクリンク」と「ムーブノート」を取り扱います。 Microsoft Teamsでは、「Whiteboard」と「Sway」

基本目標3 (4)ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーによる指導力向上

ICT教育スーパーバイザー

スキルアップアドバイザー

業務内容

- ・New草津型アクティブ・ラーニングの啓発
- ・モデル授業の計画、実施、啓発
- ・モデル校の授業支援
- ・協働学習ソフトの活用研修の実施 など

- ・小中の連携を考えた草津市プログラミング教材の開発
- ・小中学校のプログラミング授業の支援 (Viscuit, Scratch, Pepper, ドローンなど)
- ・プログラミング学習の研修の実施
- ・数学部会、技術部会との連携 など

1. モデル授業の収集

- ・New草津型アクティブ・ラーニングがめざす授業を先行実施。
- ・モデル授業を啓発し、授業イメージの定着を図る。

小6	理科	9h	物をもやすはたらき
中2	理科	15h	生物の体をつくるもの
小6	理科	9h	水溶液の性質(実施中)

単元構成図の作成、授業動画の編集、アンケート結果の集約などをまとめ、研修資料を作成する。

1. モデルプログラミングの収集

- ・小1～小6までの教科におけるプログラミング学習の収集と見直し。
- ・中学校は数学科、技術科におけるプログラミング学習の収集。

小1	国語	へんとつくり	Viscuit
小2	国語	スイミー	Viscuit
小3	国語	へんとつくり	Viscuit
小6	家庭	クリーン作戦	Scratch
中2	数学	バブルソート	Scratch

・各学年1事例を動画撮影する。
・授業動画を編集し、教育情報化リーダー研修会にて内容を検討する。

2. New草津型アクティブ・ラーニングの啓発

- ・各種研修会での啓発
 - 初任者研修会(新規採用職員)
 - 夏季研修会(希望教職員)
 - スキルアップ研修会(採用3～5年目教職員)
 - 学力向上マネジメント会議(学力向上担当教職員)
 - 教育情報化リーダー研修会(ICT推進担当教職員)
 - モデル校での研修(草津第二小学校、草津中学校)
- ・教材共有ポータルサイトを通して、全教職員に啓発



研修風景

2. モデルプログラミングの啓発

教材共有ポータルサイトを通して、全教職員に啓発する。

3. プログラミング研修

- ・ミニ研修、スキルアップ研修



教材共有ポータルサイト

3. 成果

New草津型アクティブ・ラーニングがめざす授業を具体的な授業を通して教職員に啓発することができた。